

# スポーツ交流の再開!

松南地区ではスポーツによる地域交流が盛んで、かつては町会対抗の野球大会も行われました。その歴史も薄らいだ所にコロナ感染が災いし、スポーツ行事は軒並み中止せざるをえませんでした。しかし、コロナ禍も和らいだ昨今、工夫を凝らし、交流を再開しました。

その様子をスポーツ協会理事長の岡田隆一さんに報告していただきました。

梅雨明け後の猛暑の日々が続いております。日頃、松南地区スポーツ協会にご協力いただきまして、有り難うございます。行事、活動計画を立ちましたが、コロナの影響で2年半活動が出来ませんでした。

その中でも屋外でできるマレットゴルフと野球を活かし、「ふれあいマレットゴルフ」を年3回開催し、昨年は市民祭と市長杯に参加してまいりました。

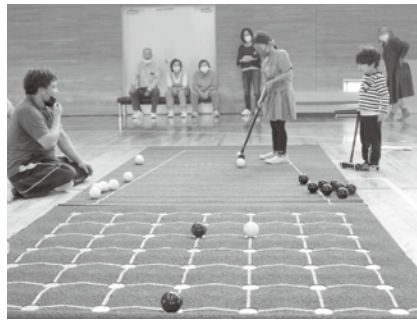
今年は何とか全行事を開催しようと理事一同頑張りまして、今年最初の行事「体力測



大人気のボッチャ



ファミリーでバドミントン



初めての囲碁ボール

6月5日、園児のお子さんから高齢の方々など38名の参加があり、盛況でした。ボッチャは初めてですので、南松本2丁目町会で実施している中島さんにご指導いただき、ルールも覚えながら楽しく遊びました。また囲碁ボールも和気あいあいに楽しみました。マスクの外せる時期を期待しながら、「ふれあいマレットゴルフ」や夏季球技大会など開催しますので、これからスポーツ協会の行事に大勢の参加をお願いします。



山田美由紀先生の「体げんき体操」(前号で「吉田先生」と紹介しました。お詫びし訂正いたします。)

新型コロナウイルス感染症の流行により、ひろば事業はすべて中止となり、誰も来ない日々が続きました。2年前のことです。ワクチンも未接種の中で、高齢者の集いは回避せざるをえませんでした。

静まり返った娯楽室はとても寂しくて「皆何しているのかな。」「大丈夫かな。」と心配する日々でした。そんな時、町会連合会会長から「家に引きこもっていたら良くないから、ひろばのふれ健を再開して皆に元気を取り戻してほしい。」と助言をいただきました。地区の方々の協力で、飛沫防止シートの作成や提供、子供のお菓子を袋入りに変更するなど感染対策を徹底し、7月にはひろば喫茶を再開しました。

## その時々できることを

松南地区福祉ひろば 井口純子

とても楽しそう、私もうれしくなりました。今も毎月、数十名の方々が参加され、交流されています。

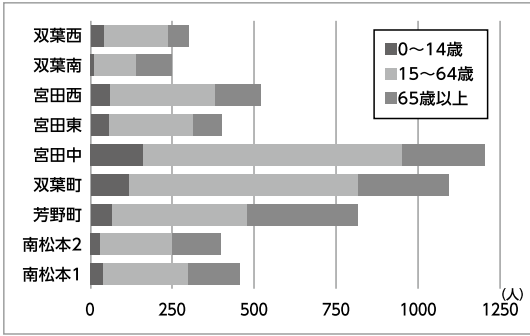
コロナ禍の今、不自由さもありますが、その時々でできることを探し、工夫を凝らし、地域の方々の交流の場づくりやきっかけづくりをしています。以前のように特別な用事がなくても気軽に立ち寄れる集いの場に戻ることを願っています。

さらに8月には「ふれあい健康教室」の会場を「三密」回避のため、松南地区公民館大会議室で再開しました。時間を短縮し、合唱や茶話会は行ないませんが、久しぶりに会う皆さんは笑顔があふれ、



6月ふれあい健康教室「賢い患者になるために」

# 統計にみる 松南地区



▲図1 松南地区年齢区分別人口(実数)

図1は町会別人口構成です。町会人口の多寡も鮮明ですが、少子高齢化も歴然としています。少子化は双葉南、南松本1、2丁目町会に顕著に表れています。また高齢者比率も公営住宅のある町会では、30数%〜40数%を示すなど高齢化は鮮明です。

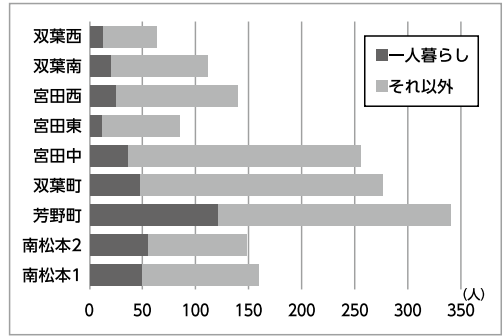
図2は「一人暮らし高齢者」の実情です。当地区は松本市でも2位の高率を表していますが、芳野町、南松本1、2丁目町会では30数%を数えます。この事態に地区としても地域ケア部会が発足し、活動しています。



町会ケアをめぐる意見交換

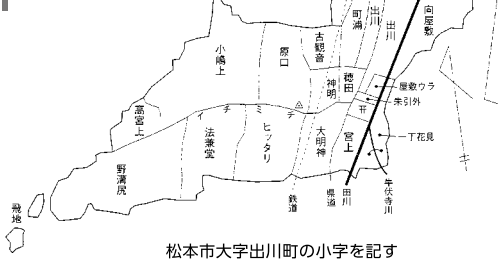
高齢、一人暮らし自体は問題ではありません。しかし安心して住め、いつでも「助けて」といえる町づくりは、地域の課題です。

6月13日、町会ケアをめぐって地域ケア会議が開かれました。9町会から町会役員や福祉担当者ら約50人が、在宅支援を担う「あいナベリン(株)」の話題提供を受け、活発に意見交換しました。



▲図2 松南地区65歳以上人口(実数)

江戸時代の出川町村の小字と湧水地「泉わく里」出川史(平成11年刊)より



左図は江戸時代の出川町の小字名だが、慶安4年(1651年)の検地帳に「畑の部」として記された「原口」「ひつたり塚」「ほけとう(法華堂)」「のみそさかい」「のみそ志り」と記される地域が概ね該当するだろう。

## 松南地区の歩み ～江戸時代は「空白」?～

1590年、石川数正が深志城に入城し、松本もその後江戸幕藩体制に編入される。近隣では寛永年間(1630年代)、北国協往還の宿場機能をもつ村として「出川町村」が形成される。松南地区は集落のない原野と畑地が点在し、概ね出川町村と高宮村に属したようだ。



発達障がい講座②



食育講座2・サツマイモ苗植え



なんぷくプラザ・花壇づくり

### コラム松南

最近よく目にするのはスローライフ、エンジョイライフという言葉である。スローライフとは人生に余裕をもってゆつたりのんびり過ごし、自分時間を楽しみながら生活の質を高めようとすること。自分の人生を楽しく過ごすためには「スパイス」が必要だ。それが趣味を多く持つことだろう。例えば家庭菜園や自然散策、四季折々の花、今ならバラや紫陽花を鑑賞するのも良いことだ。また、心を豊かにするなら音楽や旅行、アウトドアなど幅広くエンジョイする。他に地域の各種イベントに参加し、人との出会いやふれあいで、なお一層の人の情や義理に触れられて一番の生きる喜びとなるはずだ。◆しかしこれからの日本はどうなるのか。気候変動に伴う自然災害の猛威、少子高齢化、貧困や虐待、世界経済、物価上昇にみる遠い国での終わりなき戦争…。命の尊さ。日本は平和かつ安心安全な国で幸せを感じる。だからスローライフを満喫し、余裕ある人生を自ら創り出そう。命を繋ぎ未来への希望は永遠でありたい。ふと願う、今日この頃である。(高木正之)